

どうして寂聴さんの前に出ると
みんな洗いざらい
告白するんだらう

遠藤周作

江國香織

吉行淳之介

俵万智

江國滋

高樹のぶ子

和田芳恵

林真理子

平野啓一郎

秋山駿

連城三紀彦

山田詠美

大庭みな子

川上弘美

横尾忠則

宇野千代

久世光彦

津村節子

三岸節子

辻仁成

河野多恵子

片岡球子

野田秀樹

田中慎弥

山本安英

鶴見俊輔

島田雅彦

坂本龍一

井上荒野

高橋源一郎



文学特別展

寂聴対談展

2016年

4月23日(土)～6月5日(日)

休館日 月曜休館(5月2日は開館)
開館時間 午前9時30分～午後5時

主催 徳島県立文学書道館
後援 徳島新聞社 四国放送

言の葉ミュージアム
徳島県立文学書道館

撮影 篠山紀信

寂聴対談展

どうして寂聴さんの前に出ると
みんな洗いざらい
告白するんだろう

瀬戸内寂聴は51歳で出家する以前から、座談の名手として多くの対談を行い、出家以降はさらに幅広い分野の方々と交流し、対談を重ねてきました。

本展では、50年にわたる6000人余りの方々との対談の中から、作家を中心に30の対談をとりあげます。自らの生き方、文学、社会のあり方について真摯に語り合う話の一部を抜粋し、相手の著書、寂聴あて書簡、写真とともに展示します。



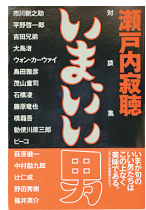
『談談談』
1974年 大和書房



『瀬戸内寂聴と男たち』
1986年 中央公論社



『すばらしき女たち』
1983年 中央公論社



『いま、いい男』
2002年 ぴあ



『あざやかな女たち』
1984年 中央公論社



『寂聴まんだら対談』
2014年 講談社

対談より抜粋

吉行淳之介

女は美人だと、それだけで世の中が通っちゃうでしょう。そうするとコンプレックスが出てこない。小説って、やっぱりコンプレックスがいちばん根もとにあるような気がする。

高樹のぶ子

でも、恋愛したからってパーッと手に入れて、最後までいっちゃうと……。

瀬戸内寂聴

それで終り。私はもう今ほとんどよくわかるんだけど、恋愛というのはプラトニックが恋愛よ、寝たとき終りよ。

山田詠美

帰ってこない人がいたという経験をいくつ重ねるかによって、例えば小説家だったら、書くものがかなり変わってくるんじゃないかと思えますね。

宇野千代

あなたと私はね、人間の裏表のような気がするの。あなたが表だったら私が裏でね、私が表だったらあなたが裏だったような、何か裏表の人間のような気がするの。

遠藤周作

ところで、小説家というのは小説をたくさん書いていたら、人を裁けなくなるんじゃない。どういうものなんでしょう。

講演「人を支える寂聴さんの言葉」

日時 5/22(日) 14:00~15:30

会場 ギャラリー 要申込 ※講演中、ギャラリーでの観覧はできません。

講師 岩岡千景(東京新聞文化部記者、『セーラー服の歌人 鳥居』著者)

寂聴の連載を長年にわたって担当している記者が、印象的な寂聴の言葉を取り上げ、いかに自らの仕事や人生の局面で支えになったかを話します。

音声と映像による作家案内

日時 5/7(土) 14:00~15:00

会場 2階講座室 申込不要

講師 竹内紀子(当館専門調査員)

展示している河野多恵子、津村節子、横尾忠則、島田雅彦らが徳島を訪れて講演した際の音声やビデオを紹介しながら、寂聴との交友を語ります。

テーマ朗読会 寂聴作「道具」を読む

最新短編集『わかれ』所収

日時 5/14(土) 14:00~15:00

会場 2階講座室 申込不要

○ロビーでは、最近、寂庵を訪れた若い作家の方々との7分間のプライベート映像を上映します。



寂聴と高橋源一郎



平野啓一郎(左)と田中慎朗

○3階収蔵展示室では、徳島が舞台となった宇野千代の小説「人形師天狗屋久吉」の原稿、初版本、限定豪華本、書簡等の新収蔵資料を寂聴との対談(抜粋)とともに展示します。

講演会お申し込み方法

往復ハガキ(1人1枚)に、「寂聴対談展講演会希望」と書き、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・年齢を明記して、郵送してください。当館受付でもお申し込みいただけます。

観覧料

一般 510(400)円 高校・大学生 350(280)円 小・中学生 250(200)円

※()内は20名以上の団体割引料金。小・中・高校生は土・日・祝日無料。65歳以上の方、各障害者手帳をお持ちの方は半額。

交通アクセス (JR徳島駅から)

■徒歩

約15分 JR徳島駅西側のポツボ街を抜けて右折します。踏切と助任川を越えて、3つ目の信号交差点を右折して約300m。

■バス

徳島市営バス 7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。

徳島バス 2番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩で約5分。

■自動車

約5分 国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を渡り、4つ目の信号を右折して約300m。

当館北側に駐車場があります。

言の葉ミュージアム
徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1

TEL 088-625-7485 FAX 088-625-7540 URL <http://www.bungakushodo.jp>

関連イベント(入場無料)

